



報道関係者各位

2020年7月30日 三井不動産株式会社

株式会社三井不動産ホテルマネジメント

三井不動産グループが様々な分野のトップクリエイターと共創した"次世代型"新ホテルブランド 『sequence MIYASHITA PARK』2020/8/1 (土) OPEN 『sequence KYOTO GOJO』2020/8/7 (金) OPEN 『sequence SUIDOBASHI』2020/7/30 (木) 予約受付開始

三井不動産株式会社および株式会社三井不動産ホテルマネジメントは、新ホテルブランド『sequence(シークエンス)』の開業を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため当初の予定から延期しておりましたが、今般開業を迎えるためお知らせいたします。

新ホテルブランドおよび各ホテルの特長

新ホテルブランド『sequence』

多様化するニーズに応える新しい滞在価値として、人や街との「やさしいつながり」を楽しむことができる特別な空間や体験を提供。

『sequence MIYASHITA PARK』(2020年8月1日OPEN)

再開発が進む渋谷駅至近、公園・商業・宿泊一体型施設「MIYASHITA PARK」内に誕生する新しいミクストユース型プロジェクト。公園からシームレスにつながるロビーラウンジ、渋谷を大パノラマで一望できるルーフトップバー等、開放感あふれる空間が広がる。

所在:東京都渋谷区神宮前 6-20-10 MIYASHITA PARK North 客室数: 240 室



sequence MIYASHITA PARK(外観)

『sequence KYOTO GOJO』(2020 年 8 月 7 日 OPEN)

烏丸通りに大きく開いたオープンテラスとやさしくフレドリーなスタッフ、ZEN(禅)の世界観を表現した THE BATH、THE SAUNA 等、新たな京都を感じられる空間が魅力。

所在:京都府京都市下京区五条烏丸町 409 番

客室数:208室



seguence KYOTO GOJO(ラウンジ)

『sequence SUIDOBASHI』(2020 年 7 月 30 日予約受付開始、同年 11 月 25 日 OPEN)

街のもつエンターテインメント要素を一層際立たせる、神田川と水盤に囲まれたオープンテラスとパブリックビューイングスクリーン。水道橋エリアで堪能したエンターテインメントの余韻をそのままにお楽しみいただける空間を提供。

所在:東京都千代田区神田三崎町 2-22-17

客室数:119室



sequence SUIDOBASHI(外観イメージ CG)

やさしいつながり

人が世界と接するとき、そこにやさしさがあること。

人と人、人と街の心地いい出会い

思い思いに楽しむ空間と土地の個性

こころもからだも心地よく過ごせるスマートさ

私たちは、そんな新しい滞在価値の提供を目指して、

新たなホテルブランド『sequence (シークエンス)』を創りあげてきました。

『sequence』という単語には、つながり・連鎖・一連の流れ・連続という意味があります。

自分だけの過ごし方を自由に創造・編集し、唯一無二の時間を過ごすことができる場所、

さまざまなヒト・モノ・コトとの出会いにつながることのできる場所として名付けられました。

SNS が発達し、「個の時代」と呼ばれるこの世の中で

互いを尊重し、やさしくつながれる「体験と時間」を提供できるホテルでありたいと考えています。

企画・運営にあたっては社外のトップクリエイターとタッグを組み、

それぞれの強みやノウハウを活かすことで、

これまでのホテル業界の常識や作法にはとらわれない、

新しい次世代型のホテルの創造にチャレンジしたプロジェクトです。

『sequence』は"やさしいつながり"という理念のもと、「SMART」「OPEN」「CULTURE」の3つを軸に、 ゲストに"自由な時間と、過ごし方"を提供します

Brand Concept & Values | 新ホテルブランドのコンセプト&提供価値

『sequence』は"やさしいつながり"という理念のもと、「SMART」「OPEN」「CULTURE」を 3 つの軸に、 ゲストに"自由な時間と、過ごし方"を提供します。

(1) SMART: 気の利いた心豊かになれる時間

新たなチェックイン&チェックアウト時間の設定や ICT 技術の採用により、スムーズでスマートな滞在を提供します。新たな時間の使い方によりホテル内や周辺エリアを楽しむ余裕が生まれることで、ゲストに今までにない体験創出の機会をもたらします。ゆとりある時間設定はゲストがロビーやレストランを訪れる時間を分散させ、「3 密回避」を実現します。

- ・ フレキシブルなチェックイン&チェックアウト:17 時チェックイン/翌日 14 時チェックアウトで自由に過ごせる時間を拡張
- ・ エニータイムブレックファスト:12 時まで朝食のご利用が可能
- ・ 「衛生管理」につながる、NEC の顔認証システムによるセルフチェックイン、キャッシュレス対応を導入
- 1室に1台配置したタブレットでルーム内でのチェックアウトが可能
- ・ 使い捨てを減らす取り組みとしてゲストに最小限のアメニティのみをご提供、再利用素材や脱プラスチック備品の積極的採用による地球環境への配慮



顔認証イメージ



何度でもご利用いただける エシカルなタンブラー

(2) OPEN: 誰にでも開かれた空間

どなたにも自由に心地よくご利用いただける共用空間をご用意しました。おひとりでのご利用や、ゲスト同士のコミュニケーションの場としてもご活用いただけます。屋外とつながる開放的なカフェやレストランは、「3 密回避」の一助となります。

- · 公園や空に開かれた「ロビーラウンジカフェ」「ルーフトップバー&レストラン」(MIYASHITA PARK)
- ・ ゲストも、街ゆく人も、自由に心地よく利用できる「ラウンジ」(KYOTO GOJO)



MIYASHITA PARK ロビーラウンジカフェ



KYOTO GOJO ラウンジ

(3) CULTURE: その街ならではの文化を楽しむ体験

その街の文化を想起させるようなインテリアやアート、ゲストと街の人々との触れ合いを創出するコミュニティイベントなど、様々な仕掛けを予定しています。また、館内のスペースは地域のクリエイターやアーティストの方々にご利用いただくことで、新しい文化を発信していきます。

- ・ スタッフはゲストをやさしく迎え入れ、心地よい距離感でゲストに寄り添い、滞在をサポート。ゲストと地域の人々、文化との触合いを創出します。
- ・ 街の歴史や成り立ちを感じられるインテリアデザインやアート作品の展示
- ・ 地域のクリエイターの感性に触れるアート系コミュニティイベントの実施
- ・ 地酒や名産食材を存分に味わえるフード系コミュニティイベントの実施



MIYASHITA PARK スタッフ

Partners & Creators | 『sequence』を共に創るパートナー&クリエイター

『sequence』のコンセプトと共鳴する様々なジャンルで活躍するクリエイターと共に、多様化するニーズに 応える新しい滞在価値となる、人や街との「やさしいつながり」を楽しむことができる特別な空間や体験を創 り上げました。

パートナーのご紹介



『sequence』ブランドプロデュース 『sequence MIYASHITA PARK』企画プロデュース&運営パートナー 株式会社ウェルカム 代表取締役 横川正紀



[sequence KYOTO GOJO] & [sequence SUIDOBASHI] 企画プロデュース&運営パートナー 株式会社グリフォン 代表取締役 齊藤貴史

クリエイターのご紹介

< sequence MIYASHITA PARK>



客室デザイン 建築事務所 Puddle 加藤匡毅



インテリアデザイン SUPPOSE DESIGN OFFICE 谷尻誠、吉田愛



[Dōngxī Restaurant & Sakaba] インテリアデザイン TERUHIRO YANAGIHARA STUDIO 柳原照弘



「SOAK」インテリアデザイン noiz



館内アート The Chain Museum 遠山正道、伊藤直樹



ホテル内空間植栽 叢 - Qusamura 小田康平

<sequence ブランド共通>



サウンドデザイン SOUND COUTULE inc. 大河内康晴



VIデザイン There There 渡辺和音

< sequence KYOTO GOJO >



デザイン監修 グリフォン 田中孝祐



デザイン監修 TIMELESS Inc. 中村嘉樹



内装設計 三井デザインテック 小林創



BAKIBAKI / KOHEI YAMAO



メディアアート FLOZ

■添付資料

- ① 『sequence MIYASHITA PARK』の特長
- ② 『sequence KYOTO GOJO』の特長
- ③ 『sequence SUIDOBASHI』の特長
- ④ 新ホテルブランド『sequence』開発背景と理念
- ⑤ 三井不動産ホテルマネジメントグループの衛生に関する取り組み
- ⑥ 三井不動産グループの SDGs への貢献について

上記、添付資料は、三井不動産ホームページ内リリース(2020年7月30日付)をご参照ください。

(1) JR 渋谷駅徒歩約3分「MIYASHITA PARK」内に誕生、流行の発信地で注目度の高いエリアに位置

本ホテルは、リニューアルされた『MIYASHITA PARK』の北街区に誕生します。渋谷駅周辺・原宿・青山・表参道エリア、新国立代々木競技場(代々木公園)をつなぐ結節点に位置しており、ショッピング・街歩き・グルメ・ナイトエンタテインメントが充実した、最新のトレンド・カルチャーを享受できる、国内外から注目度の高い人気のエリアです。

(2) 公園・商業施設・宿泊施設が一体となった新しい「ミクストユース型」プロジェクト

① 施設コンセプト: 「PARK MIND」

『sequence』ブランドのフラッグシップ的存在の本ホテルは、再開発の進む渋谷駅周辺において、公園・商業施設・ホテルが一体となった新しいミクストユース型プロジェクトとして誕生します。多種多様な人々をやさしく受け入れ、誰もがリラックスして自由に過ごせる開放的な「MIYASHITA PARK」。その公園の心地よい雰囲気がそのままホテル内に広がります。訪れたゲストが忙しさから解放され、寛容な気持ちになれる、快適な空間と時間をお過ごしいただけます。

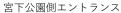
② 外観

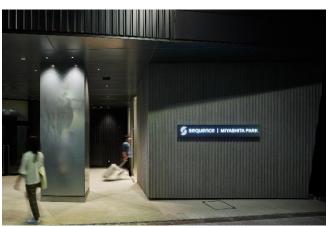
本ホテルの外観コンセプトは「SUHAKO(スハコ)」。「SUHAKO」の「SU」とは、「巣」あるいは「素」を表しています。鳥の「巣」を連想させながら、世界中からここに集まるクリエイターたちの素顔の「素」であり、コンクリートという素材の「素」をも意味します。鳥たちが帰ってきてしばし羽を休め、再び飛び立つようなイメージをデザインしています。



『MIYASHITA PARK』および『sequence MIYASHITA PARK』外観







JR 原宿駅側エントランス

③ ロビーラウンジ、カフェ&バー「VALLEY PARK STAND」(4階)

渋谷区立宮下公園からシームレスにつながる、ホテル 4 階のエントランスフロアは、ホテルのロビーラウンジと、株式会社ウェルカムの新業態のカフェ&バー「VALLEY PARK STAND」が連なっています。公園や客室で気軽に楽しめる「ワンハンドフード」や各種ドリンクをご用意し、ホテルのゲストだけでなく、公園利用者、近隣住民やオフィスワーカー、観光客に至るまで、どなたでもご利用いただけます。

随所に配された木製のカウンターやスツールの一部は、かつて宮下公園にあったケヤキをアップサイクルして製作され、エントランスフロア奥の植栽は、ボーダーレス・ジェンダーレスの人が集まる渋谷という街の多様性を、個性の強い植物で表現しています。



ホテルレセプション



カフェ&バー「VALLEY PARK STAND」



「VALLEY PARK STAND」ワンハンドフード提供イメージ



「VALLEY PARK STAND」提供フードイメージ

<カフェ&バー「VALLEY PARK STAND」概要>

※開業後当面の間は営業時間に変更が生じる場合がございます。最新情報は公式 Instagram(@valleyparkstand)をご覧ください。

営	業	時	間	7:30~23:00 (L.O 22:30)
共	用	部席	数	約 70 席~80 席

クリエイターのご紹介

●インテリアデザイン

SUPPOSE DESIGN OFFICE 代表 谷尻誠、吉田愛

広島と東京の2ヵ所を拠点とし、住宅、商業空間、会場構成、ランドスケープ、プロダクト、インスタレーションなど、国内外を問わず多数のプロジェクトを手がけています。作品には公共施設や海運倉庫を改修した複合施設「ONOMICHI U2」、代々木上原の「社食堂」などがあります。

●ホテル内空間植栽

株式会社叢 - Qusamura(くさむら) 代表 小田康平

整った美しさよりも「『いい顔』をしているかどうか」を植物選びの基準に、独自の美しさを提案する植物屋。店主みずから日本中を旅して集めた個性あふれる植物を、その個体の特徴を引き出す器とあわせて提案しています。

④ 客室(6 階~17 階)

全客室のデザインは、「感性にあふれた、東京の部屋」をコンセプトに、家具や備品に本物の質を求め、シンプルで豊かな空間に仕上げました。大きな窓から見える渋谷の街を借景として、客室にいても渋谷の街とつながる高揚感を味わいながら、同時に自分だけの安らぎの時間を楽しむことができます。TOKYOのホテルに滞在する楽しさを感じてもらえるよう、窓ガラスに「Hi, TOKYO!」のスピーキングメッセージを刻みました。また、ゲストに心地よい滞在期間を提供するため、手に触れるアメニティはホテルブランドオリジナルで製作し、厳選アイテムを設置しました。



客室(King)



窓ガラスのスピーキングメッセージ「Hi, TOKYO!」



客室(Twin)

グループで泊まれる「BUNK ROOM」(6階)

6階には、家族・友人同士など多人数でのご旅行や様々なニーズに対応した、最大 6名までご利用いただけるバンクベッド(2段ベッド)タイプの客室をご用意しました。公園ビューが見渡せる窓辺に沿って小上がりを設け、まるで縁側で外を眺めながらくつろぐようにお過ごしいただくことで、新たなコミュニケーションが生まれるユニークな空間が広がります。



客室(Bunk Bed 4)



客室(Bunk Bed 3)

渋谷を見渡す大きな窓が魅力の「STANDARD ROOM」(7階~17階)

7階から17階は、スタンダードな客室のフロア。 ゲストが目にする場所を美しく、触れる場所を手触り よく仕上げることに徹底的にこだわりました。

一部の客室は小上がりの上にベッドを配置し、海外からのゲストにも「縁側」の雰囲気を体験いただくことができます。また、ビューバスタイプの客室では、 渋谷の夜景を眺めながらバスタイムをお楽しみいただけます。



客室(Queen)



客室(Twin)



客室(King)

渋谷の街を一望できる極上の「SUITE ROOM」(17 階)

新国立競技場と代々木競技場、明治神宮の杜、富士山を一度に見晴らせる、客室最上階に位置する「SUITE ROOM」。選び抜かれたインテリアと調和のとれた落ち着きのある配色、約 94.7 ㎡の広さ、抜群の東京ビューが自慢の客室です。全客室の中で、この SUITE ROOM のみに特別に配置された真空管アンプは、建築事務所 Puddle の加藤匡毅氏がこの部屋のためだけに制作しました。アンプが奏でるあたたかい音色は、ソファ下に配置されたスピーカーから溢れ、部屋全体をやさしく包み込みます。



リビング(Suite)



ベッドルーム(Suite)

クリエイターのご紹介

●客室デザイン

建築事務所 Puddle 代表 加藤匡毅

隈研吾建築都市設計事務所、IDÉE などを経て、2012年に Puddle 設立。「キッチンで暮らす施工事例(主催 LIXIL)」金賞受賞など、受賞歴多数。京都から世界に広がる「アラビカコーヒー」店舗や、「ダンデライオンチョコレート」、クレイジーウェディング式場「IWAI」などの空間を手がけています。

⑤ レストラン&バー(5 階、18 階)

グローバルでローカル = グローカルな食文化を発信するレストラン&バー

「Dōngxī(ドンシー) Restaurant & Sakaba」(5 階)

5 階には、株式会社ウェルカムが運営する朝食ダイニングルームを兼ねたレストラン&バー「Dōngxī Restaurant & Sakaba」が出店。「Dōngxī」とは、シルクロード圏のことばで「東西」を意味します。シルクロード がつなぐ「東と西のあいだ」に位置するアジアの国々からインスパイアを受け、これまでの常識や枠組みにとらわれないユニークなアジア料理やグローカルな食文化を"シルクロードの終着点"と捉えた東京から世界へと発信していきます。

総料理長には DEAN & DELUCA 元総料理長の境哲也氏が就任し、「Dōngxī」および 4 階のカフェ&バー「VALLEY PARK STAND」のすべての料理を監修します。産地にこだわった食材が並ぶサラダビュッフェをはじめ、五感で嗜む朝食をお楽しみいただけます。

併設するバーのマネージャーには、「バカルディレガシーカクテルコンペティション」ニューヨーク大会代表の経歴を持つバーテンダー宇塚健氏が就任。クローズドなイメージが強いホテルのバーを、パークマインドで楽しめる賑やかな場所へと進化させます。

※開業後当面の間、朝食をセットメニューでご提供します。最新情報はホテル公式 HP をご覧ください。



RESTAURANT「Dōngxī」(ビュッフェカウンター)



RESTAURANT「Dōngxī」提供料理イメージ



RESTAURANT「Dōngxī」(テーブル席)



BAR [Sakaba]

< RESTAURANT & BAR「Dongxi Restaurant & Sakaba」概要>

※開業後当面の間は営業時間に変更が生じる場合がございます。最新情報は公式 HP (https://dongxi.tokyo/)をご覧ください。

			朝 食 07:00~12:00
			ラ ン チ 12:00~15:30(L.O 14:30)
営	業時	間	ディナー 18:00~23:00(L.O 22:00)
			[バー]
			日~木曜 17:00~24:00(L.O 23:30)
			金~土曜・祝前日 17:00~26:00(L.O 25:30)
座	座席数		89 席(朝食・ランチタイム 89 席/ディナー 66 席/BAR 23 席)
			ビュッフェスタイル
朝		食	※開業後当面の間、朝食をセットメニューでご提供します。
			最新情報はホテル公式 HP をご覧ください。
Т	T E L		03-6712-5730
備		考	全席終日禁煙

クリエイターのご紹介

●インテリアデザイン

TERUHIRO YANAGIHARA STUDIO 代表 柳原照弘

2002 年に自身のスタジオを設立、"デザインする状況をデザインする"という考えのもと、プロダクトから空間デザインまで、国やジャンルを超えて活動。クリエイティブディレクターとして家具ブランド「KARIMOKU NEW STANDARD」、革小物ブランド「TYP/ Morpho」、陶磁器ブランド「1616/ arita japan」などの国際的なブランドの立ち上げに参加しています。

NEO TOKYO の新しいナイトスポット ROOF TOP BAR & RESTAURANT「SOAK(ソーク)」(18 階)

最上階の 18 階には、渋谷の街を広大なパノラマで一望できるルーフトップバー&レストランが誕生します。 「いまから約 100 年前の日本が違うタイムラインを迎えたら、こんな世界が生まれたのではないか?」をコンセプトに、世界と渋谷をつなげる、世界中を魅了するエンターテインメントレストランです。解放感と良質な音楽でイベントスペースとしてもご活用いただけます。"非日常"の特別な夜が体験できる、渋谷の新たなナイトタイムスポットとして、ご宿泊以外のお客様にもご利用いただけます。

ミラーボールが天井で溶け出したような「メタボール」などの遊び心溢れるインテリアは、noiz が担当しました。

※開業時期は未定です。最新情報は公式 HP (https://soaks.tokyo/)をご覧ください。



ROOF TOP BAR & RESTAURANT「SOAK」(イメージ CG)

クリエイターのご紹介

●インテリアデザイン

noiz

東京と台北を拠点として、国際的に活動する建築設計事務所。最新のデジタル技術を応用した建築やプ ロダクトのデザインを中心に、幅広い分野で活躍しています。

⑦ アート(4 階エントランスフロア、全客室)

『sequence MIYASHITA PARK』は、既存のホテルのあり方にとらわれず、アートと世界、アートと人を「や さしくつなぐ | 特別な場所となるべく、4 階エントランスフロアと、全ての客室に The Chain Museum が企画・ キュレーション・ディレクションした新進気鋭のアーティストによるアート作品を展示しました。

1室ごとに異なるユニークなアート作品は、The Chain Museum が運営するアート・コミュニティプラット フォーム「ArtSticker(https://artsticker.app/r/dl/)」で全ての作品詳細をチェックすることができます。また 「ArtSticker」からアーティストを支援し感想を直接伝えることができ、ゲストとアーティストが「直接つなが るアート体験」を提供します。

クリエイターのご紹介

●アートプロデュース

The Chain Museum

The Chain Museum は、2018年に設立された、スマイ ルズ遠山正道と伊藤直樹率いるクリエイター集団 PARTY が新たに発信する「アートの次のあり方をつく る」プロジェクト。オフィスや美術館の裏道から、風車 の突端や無人島まで、日常の、ふとした場所にアートを 潜ませていく、アーティストとともにつくりあげる小さ くてユニークなミュージアムです。





ENTRANCE ART①(入口中央) 作品名:「Lovers | アーティスト:田村琢郎



「発酵発電所(zymotic electroplants)(2017)」 アーティスト:ハシグチリンタロウ





作品名:「Humans」 アーティスト: 東慎也



客室設置アート①ペデスタル 作品名:「Rubbish on the road」 アーティスト:田村琢郎



客室設置アート②ペデスタル 作品名:「組み合わせの方法」 アーティスト: 牛島光太郎



客室設置アート③壁掛けアート 作品名: [1枚物語] アーティスト:牛島光太郎

■施設概要

名				称	sequence MIYASHITA PARK				
所	在地			地	東京都渋谷区神宮前 6-20-10 MIYASHITA PARK North				
					東京メトロ「渋谷」駅 B1 出口より徒歩 3 分				
交				通	JR「渋谷」駅ハチ公口より徒歩7分				
					東京メトロ「明治神宮前<原宿>」駅7番出口より徒歩8分				
構	造		規	模	鉄骨造 地上 18 階				
客		室		数	240 室				
		ア	144		4 階:ロビーラウンジカフェ、ホテルレセプション5 階:レストラン、スタジオ				
フ	П		構	成	6~17 階:客室 18 階:ルーフトップバー&レストラン				
Т	T E L		L	03-5468-6131					
公	式	サ	1	 	https://www.sequencehotels.com/miyashita-park/				
企画	プロデュー	-ス・レ	ノストラン	/運営	株式会社ウェルカム				
設	計	•	施	エ	株式会社竹中工務店				
					客 室:Puddle				
フ	ロア	デ	# 1	• ,	4 階: SUPPOSE DESIGN OFFICE				
	ii)		9 1	1 ン	5 階:TERUHIRO YANAGIHARA STUDIO				
					18 階:noiz				

■客室構成

部屋名称	面積	ベッドサイズmm	定員	室数
Bunk Bed 2	16.9 ∼ 17.1 m²	970×1960	2	2
Bunk Bed 3	18.3 ∼ 25.2 m²	970×1960	3	11
Bunk Bed 4	30.5 ∼ 37.3 m ²	970×1960	4	2
Bunk Bed 6	40.6 m²	970×1960	6	1
Double	13.7 ∼ 14.8 m²	1390×1960	2	24
Medium Double	16.3 ∼ 17.1 m²	1390 × 1960	2	36
Queen	18.3 ∼ 20.3 m²	1500 × 1960	2	62
King	37.3 ∼ 40.6 m²	1800 × 1960	2	22
Junior Suite	45.7 ∼ 50.0 m²	1800 × 1960	2	3
Accessible Queen	23.7 m²	1500 × 1960	2	1
Twin	23.7 ~ 25.2 m²	1220 × 1960	2	64
Large Twin	30.2 ∼ 30.8 m²	1220×1960	2	11
Suite	94.7 m²	1390×1960	2	1

総客室数:240室

最大宿泊可能人数:499人

チェックイン 17:00~/チェックアウト ~14:00

■地図



(1) 五条駅・四条駅至近、観光やビジネスの活動拠点として交通利便性に優れた立地

本ホテルは、世界的観光都市京都の中心部を南北に貫く烏丸通り沿いに位置しています。京都駅より市営地下鉄で1駅2分である「五条」駅から徒歩3分、「四条」駅からも徒歩5分という好立地で、京都市内の各観光地への交通利便性に優れています。寺社仏閣だけではなく、四条烏丸や錦市場にも近く、観光やビジネスの活動拠点として快適にご利用いただけます。

(2) 観光都市京都の中心部に位置し、京都の歴史をコンテンポラリーにアレンジしたホテル

① 施設コンセプト: 「FLOW」

日本が誇る文化都市、京都。その街に流れる風、人の流れ、ゆったりとした時間を表現するために、施設コンセプトは「FLOW(流れ)」としました。人と街と時間がゆるやかに流れ、つながっていく、京都の持つ空気感をそのままに楽しめる場所として、癒しの湯や食事、音楽など様々な趣向をご用意しました。

② デザインコンセプト:「TIME & SPACE」

ひとつひとつの素材に京都の建材や意匠を取り入れながら、あえて"京風"や"和"の要素を直接的に表現せず、空間全体をコンテンポラリーにデザインしました。特にラウンジ「THE TASTE」では、朝のゆったりとした朝食のテーブル席、昼下がりのテラス席、バータイムの DJ ブース前でのハイテーブルやスタンディング、そして夜更けのまったりとしたバータイムに落ち着くラウンジソファエリアなど、ゆるやかにつながる時間の中で「最適な時間」に「最高の居場所」が見つかるという意味で「TIME & SPACE」を特徴的に表現しました。



外額



エントランス

③ 外観、エントランス

緑豊かな街路樹が美しい京都の主要幹線である烏丸通りに大きく開いたワイドなオープンテラスが街を歩く 人々の目を惹きつけます。行灯をイメージした照明とウォールナット材を使った竹林風の装飾を配置したエントランスが、ゲストや宿泊者以外のカフェやバーの利用者を、観光地の喧騒を忘れさせる魅惑的な世界へ迎え 入れます。







ラウンジ(ボックス席)

④ ホテルレセプション、ラウンジ「THE TASTE」(1階)

レセプションの上部やバーカウンターの背景に配置されているオブジェは、着物の伝統柄である「角つなぎ」 を立体化して表現したものです。「角つなぎ」は組紐にルーツを持ち、終わることのない浮き沈みの連続によって、人生観や運命感を表現、連綿と続く命のつながり、繁栄を意味している縁起の良い文様です。

その文様をアートに昇華させたものが中央カウンター上部のオブジェ、音楽に合わせて光が躍るソファエリアの「インフィニティウォール」であり、ラウンジの象徴となるマスターピースとなっています。



ホテルレセプション



「角つなぎ」のオブジェ



インフィニティウォール

ラウンジのコンセプトは「BAR & BREAKFAST」。朝 7 時に開店し、朝食 & ランチの提供からバータイムまで、1日 18 時間通しのオールデイダイニングとなります。提供される食材等は農林中央金庫と連携し、関西・京都圏から野菜やフルーツ等の新鮮な食材を仕入れ、朝食からランチタイムには「キュイジーヌ・サンドイッチ」を中心に、ゲストの健康と心に優しいメニューをご用意。ゲストは、7 時から 14 時まで何度でもお召し上がりいただけます。バータイム&ミッドナイトには、京都の食材を使用した地中海風料理と、日本のナチュールワインやクラフトビールのマリアージュをお楽しみいただけるほか、日本有数の銘醸地である伏見の日本酒を多数用意、美酒に酔いしれるひと時をお過ごしいただけます。国際色豊かなスタッフによる気さくなサービスはまるで異国の地を訪れたかのように感じさせ、誰もが見たことのない新たな京都に出会えることでしょう。



ラウンジ(ソファエリア)



キュイジーヌ・サンドイッチ提供イメージ

また、「食」を通じて地域の生産者と旅行者、京都と世界の食文化を繋げるコミュニティイベント「FOOD GATHERING」を開催します。地元酒造メーカーと提携して行う「KIKIZAKE NIGHT」や料理を学びながら試食もできる「JAPANESE COOKING」、京都で活躍する多国籍な DJ たちによる「MUSIC NIGHT」などを予定しています。



京都伏見の日本酒

<ラウンジ「THE TASTE」概要>

※開業後当面の間は営業時間に変更が生じる場合があります。最新情報は公式 Instagram(@thetaste_sequence)をご覧ください。

		間	朝食/ランチ	07:00~14:00 (サンドイッチ/デリ/スープ/サラダ/焼き菓子/ドリンク)	
営	業時		カフェ	14:00~17:00	
占	未时		バー	17:00~22:00 (おつまみ/メイン/食事/ドリンク)	
			ミッドナイト	22:00~25:00 (おつまみ/軽食/ドリンク)	
座	席	数	80 席		
Т	Е	L	075-353-5877		
備		考	全席終日禁煙		

⑤ 客室(2~9階)

モノトーンを基調にした客室は、ファシリティを集約した「黒」と休息するための「白」で構成されています。ファシリティスペースには、京都東山文化の水墨画を想起させる黒の壁紙や什器を採用しました。洗顔やメイク、荷物の整理、着替えや身支度のためのスペースを「バックステージ」と捉え、導線を考えながら機能的にレイアウトしています。一方、ベッド周りはごくシンプルに、クリーム系の壁紙と白木のヘッドボードのみで構成。ベッドヘッドのアッパーライトのやわらかな光に包まれ、心身ともにゆったりとくつろぐことできる空間を演出しました。また、本ホテルの最も特徴的なコンセプトルームとして、定員 4 名の 4Beds の客室をご用意しました。各フロアに 1 室ずつ配した 40 m²を超える客室には、プロジェクタースクリーンを設置。ソファやベッドで寛ぎながら、旅の思い出などの映像コンテンツを大画面でお楽しみいただくことにより、ゲスト同士の楽しいコミュニケーションを後押しします。



客室(Twin)



客室(4Beds)



客室(Queen)



4Beds プロジェクタースクリーン

⑥ 体験型温浴施設「THE BATH & THE SAUNA」(地下 1 階)

新しい入浴スタイルの提案として、心も体もリラックスできる 2 つの体験型温浴施設「THE BATH」「THE SAUNA」をご用意しました。ZEN(禅)の文化を踏襲し、アジアや欧州圏でなじみ深い温浴体験と融合させました。あえて照明を落として静謐な空間で、ゲストに一日の振り返りやこれから起きる一日の期待感を膨らませていただく等、自分と向き合う時間をお過ごしいただけます。一度の滞在で両方お楽しみいただけるよう、2 つの施設は男女入替制としました。

<営業時間>6:00~14:00/17:00~25:00 ※宿泊者専用、男女入替制

※今後の状況により体験型温浴施設の営業に関して変更が発生する可能性がございます。

最新情報はホテル公式 HP をご覧ください。

「THE BATH」

「THE BATH」には、大型浴槽のほかに岩盤浴が楽しめるホットストーンを配置しました。心地よい温度に設定されており、ただ湯船に浸かるだけでない新しい入浴スタイルでくつろぎの体験を得ることができます。温まった体を最後にシャワーで少し冷やし、その後休息をとることで満足度が格段にアップします。





浴槽

ホットストーン

THE SAUNA

「THE SAUNA」には、アロマ香る大型スチームサウナとホットストーン、雨や滝を思わせる多彩なミストが楽しめる「エクスペリエンスシャワー」を配備しました。「エクスペリエンスシャワー」には、全身を温めるレインシャワー、包み込むような冷たいミストシャワー、頭から全身を流れ落ちてゆく滑らかな冷たい滝シャワーがあり、これらを繰り返し浴びて全身の温冷刺激を行います。ほのかに光の差し込む洞窟をイメージした空間で、心静まる安らぎの時間をお過ごしいただけます。



スチームサウナ



ホットストーン



エクスペリエンスシャワー

クリエイターのご紹介

●デザイン監修

株式会社グリフォン 田中孝祐

海外の飲食施設を多く手がけるインテリアデザイン会社で多くの実績を積んだのち、大手建築設計事務 所の内装部にて大型開発のインテリアデザインに携わる。商業・サービス空間における顧客体験やブラ ンド価値から想起する、計画やデザインを得意とする。

●デザイン監修

TIMELESS Inc. 中村嘉樹

大手ゼネコン、大手組織設計事務所、有名ホテル・インテリアデザイン会社の各社にて、インテリア設計の第一線でキャリアを渡り歩く。インテリアデザインを、"人の手に触れる建築"と自ら定義づけ、五感を通じて体験する建築や空間を通じて、文化やライフスタイル、の価値創造を行っている。

●内装設計

三井デザインテック株式会社 小林創

ニューヨークの Parsons School 芸術大学建築学科を卒業後、現地設計事務所にて建築、インテリア等、オフィスビルからホテル、物販施設の設計に携わる。帰国後、大手建築設計事務所にて建築、内装設計、PM 業務を通してオフィスビル、外資系 5 スターホテルなどヨーロッパ、アジアを中心に主にホテルのインテリアの設計に携わる。三井デザインテックではチーフデザイナーとして国内ホテルを中心に意匠設計を担当。2016 年 London Sleep イベントにて審査員特別賞を受賞。

⑦ アート

ストリートアート(ウォールペインティング&オブジェクト)

幾何学模様の「BAKI 柄」で知られるストリートアーティスト・BAKIABAKIが、エントランス横のビッグウォール、ギャラリー・スポットのアートピース、THE TASTE のセンターテーブル上のオブジェクトの制作を担当。原始時代、安土桃山時代、現代と「流れる時代を BAKI 柄でやさしくつなげるアート」をテーマに、京都の街へと開かれた窓からストリートのカルチャーを吹き込み、空間に遊び心と彩を加えます。



アートウォール

アーティストのご紹介

●1F アート

BAKIBAKI / KOHEI YAMAO

ストリートアーティスト。日本古来の文様を現代にアップデートした「BAKI 柄」をシグネチャーに国内外でライブペインティングや壁画、ワークショップを展開し世界中に足跡を残している。京表具・武防具とのコラボレーションも果たした「BAKI 柄」は伝統とストリートカルチャーの融合を体現。増上寺光摂殿の襖絵、姫路城プロジェクションマッピングへの素材提供、大阪国際空港屋上壁画ワークショップ、Facebook Japan オフィス壁画制作、Varanasi Art Project での壁画制作など活躍の場を広げている。

メディアアート(映像)

現在日本を拠点に活躍するフランス人メディアアーティストの FLOZ が、全フロアの 縦型デジタルサイネージにて映写する映像を担当しました。海外の視点で見た京都の 物質や図柄などのモチーフと時間の流れを融合させた「京都×FLOW」をテーマに、 開業後に訪れる秋の色を取り入れた 3 作品を制作しました。

地下1階: WAVING KOI POND (ゆらめく鯉の池)

煌めく水面の下、どこからともなく現れた多くの点がいつしか大きなうねりとなり、そのつながりがまた次のつながりへと波及する情景を表現。

1階: MEMORY IN KYOTO (京都の記憶)

京都を訪れた人々の記憶に残る「心象風景」は、みな等しく同じ感情と風情を共有できる、記憶のやさしいつながり。旅の思い出を通した、多くの旅人のつながりを、誰もが分かる、誰にも見えないあの名建築で表現。



「MEMORY IN KYOTO(京都の記憶)|

2~9 階: RED SEIGAIHA (朱に染まる青海波)

煌く日本の伝統的な文様の一つ「青海波文様(せいがいはもんよう)」に京都の秋の色を重ね合わせ、大小様々な波が山肌を 染める紅葉のようにゆらめく FLOW とそれらのつながりを表現。

アーティストのご紹介

●館内デジタルサイネージ メディアアート

メディアアーティスト FLOZ

2011 年に、アニメーションやデジタルデザイン領域で世界的名門校の一つとして名高いフランスの Gobelins L'ecole de l'image 大学を卒業後、現在は東京に拠点を置くメディアアーティスト。フロント サイドエンジニアとしてのバックグラウンドからくるデジタルテクノロジーアートが特徴。特徴的なアルゴリズム(ロボティック、コード、テクノロジー)を融合させ、デジタルとアナログの 2 つの世界の架け橋を作り表現。独特な機材を使用し、プロジェクションマッピング、インスタレーション、ビデオ、絵画など様々な形状の作品を作り出す。

■施設概要

名		称	sequence KYOTO GOJO
所	在	地	京都府京都市下京区五条烏丸町 409 番
			京都市営地下鉄「五条」駅2番出口より徒歩3分
交		通	京都市営地下鉄「四条」駅 6 番出口より徒歩 5 分
			阪急電鉄京都線「烏丸」駅 23 番出口より徒歩 7 分
構	造	見模	鉄骨造 地下1階・地上9階
客	室	数	208 室
			地下 1 階: THE BATH & THE SAUNA
フ	ロア	構成	1 階:ホテルレセプション、ラウンジ「THE TASTE」
			2~9 階:客室
Т	Е	L	075-353-0031
公	式 サ	1 ト	https://www.sequencehotels.com/kyoto-gojo/
^ _		\\	企画プロデュース:株式会社グリフォン
企画	プロデュース・レク	4トフン連宮	レストラン運営:株式会社グリフォン B&B
	ロアデサ	# <i>/</i> ` ` '	株式会社グリフォン
	н / / !) 1 / 	三井デザインテック株式会社
設	計 •	施工	三井住友建設株式会社
_			

■客室構成

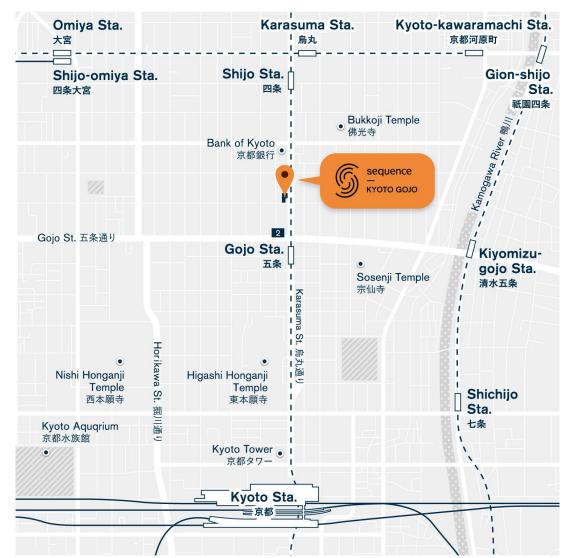
部屋名称	面積	ベッドサイズmm	定員	室数
Queen	19.5 m²	1600×1960	2	24
Medium Queen	22.1 m²	1600×1960	2	24
Accessible Queen	23.4 m²	1600×1960	2	1
Twin	23.4 m²	1100×1960	2	151
4Beds	47.2 m²	1100×1960	4	8

総客室数:208室

最大宿泊可能人数:432人

チェックイン 17:00~/チェックアウト ~14:00

■地図



(1) 水道橋駅至近、レジャーを中心に東京の滞在拠点として利便性の高い立地

本ホテルは、JR 水道橋駅徒歩 1 分、都営三田線水道橋駅徒歩 6 分と、交通の利便性に大変優れています。東京ドームシティ至近という好立地で、スポーツ観戦やコンサート、遊園地等のレジャーはもちろん、ビジネスの滞在拠点としてゲストの宿泊ニーズに応えてまいります。

(2) 水道橋エリアで堪能したエンターテインメントの余韻そのままに、引き続きその瞬間を楽しめるホテル

施設コンセプト:「MOMENT(瞬間)」

本ホテルに集まるゲストに対し、感動・興奮・喜びの「MOMENT(瞬間)」につながる場所にしたいという想いから、ラウンジやパブリックビューイングが楽しめるテラス、宿泊者専用スタジアムラウンジなど、MOMENT(瞬間)を共有するスペースを多数兼ね備えたゲスト同士のコミュニケーションの場として設えました。野球やコンサートなど、水道橋エリアで堪能したエンターテインメントの余韻を、引き続きホテルでもお楽しみいただける空間です。

② 客室(3~12 階)

洗面・メイクアップ・デスクワークなど様々な用途をコンパクトに集約させ「バックステージ(楽屋)」に見立てたブラックを基調とするカウンターエリアと、柔らかい光に包まれたホワイトを基調とするベッドエリアが、鮮やかなコントラストをなしています。無彩色で構成された空間のアクセントとして、オレンジを採用し、空間にアクティブな印象を与えます。

3~6・12 階には、2~4 名でご利用いただけるバンクベッド(2 段ベッド)タイプの客室をご用意しました。本ホテルで最も特徴的な客室である「Bunk Bed 4 LIVE」は、客室中央のビッグスクリーンを囲む形でスタジアムのようにバンクベッドを配しました。ゲストご自身のデバイスを用いてスポーツやコンサートなどの映像コンテンツを大画面で、仲間とともにお楽しみいただけます。



客室(Bunk Bed 4 LIVE、イメージ CG)



客室(Bunk Bed、イメージ CG)



客室(Queen、イメージ CG)



客室(Twin、イメージ CG)

③ テラス

ホテルの脇を流れる神田川とエントランスの傍らに位置する水盤に囲まれた、中洲のような場所に設けられたテラスは、まるで街のもつエンターテインメントを凝縮したような空間。館内からも見える位置に設置された「パブリックビューイングスクリーン」が、道行く人の注目を集めます。オープンテラスやそれにつながる開放的なラウンジが街とのつながりを醸成し、すべての人に気軽にテラスで会話や飲食をお楽しみいただける空間です。



外観(イメージ CG)

④ ホテルレセプション、ラウンジ(1階)

エントランス正面には、DJ ブースと顔認証チェックインカウンター、コーヒーカウンターが一体となったカウンターテーブルを設置しました。ラウンジは、様々なシーンに対応できるようフレキシブルなファニチャーレイアウトを可能としたエリアと、ハイテーブルやマルチモニターを設置したエリアを設けることにより、ゲストやスタッフの垣根を超えて、一体となって盛り上がれる空間を目指しました。屋外のパブリックビューイングスクリーンと合わせて、あらゆるエンターテインメントを存分にお楽しみいただけます。



ホテルレセプション、ラウンジ(イメージ CG)

⑤ STADIUM LOUNGE(2 階)

2階には、宿泊者専用のシアターラウンジ「STADIUM LOUNGE」を設置しました。東京ドームという日本を 代表するボールパークの空気をそのままに、120 インチの大型スクリーンでゲスト同士がスポーツ観戦をはじ めたとした様々なエンターテインメントを楽しみながら、つながる瞬間を体感することができます。



STADIUM LOUNGE($(1 \times -) \circ CG)$

■施設概要

h 1L	OLUD OD AOLU			
名称	sequence SUIDOBASHI			
所在地	東京都千代田区神田三崎町 2-22-17			
交通	JR「水道橋」駅より徒歩1分			
入地	都営三田線「水道橋」駅より徒歩6分			
構造規模	鉄骨造 地上 12 階			
客室数	119 室			
	1 階:テラス、ラウンジ、ロッカールーム			
フロア構成	2 階:ラウンジ			
	3 階~12 階:客室			
付帯施設	カフェバー、DJ ブース、テラス、パブリックビューイングスクリーン、			
1.7.1.10.1116.90	STADIUM LOUNGE(宿泊者専用シアターラウンジ)			
TEL	03-3222-3131			
公式サイト	https://www.sequencehotels.com/suidobashi/			
企画プロデュース・レストラン運営	企画プロデュース:株式会社グリフォン			
止回ノロアュース・レストラン連宮	レストラン運営:株式会社グリフォン B&B			
フロアデザイン	株式会社グリフォン			
設計・施工	三井住友建設株式会社			

■客室構成

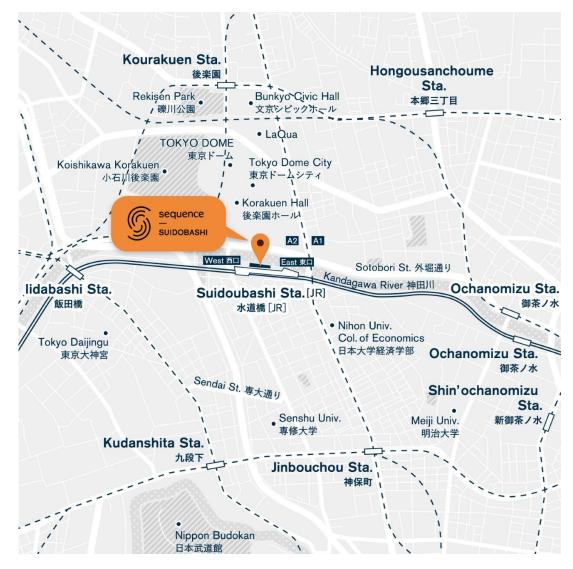
部屋名称	面積	ベッドサイズmm	定員	室数
Bunk Bed 2	14.2 m²	1100×1960	2	10
Bunk Bed 3	22.4 ~ 27.6 m²	1100×1960	3	12
Bunk Bed 4	47.2 m²	1100×1960	4	4
Bunk Bed 4 LIVE	28.4 m²	1100×1960	4	1
Double	14.2 m²	1390×1960	2	28
Queen	16.8 m²	1600×1960	2	28
Accessible Queen	22.4 m²	1600×1960	2	1
Twin	22.4 ~ 27.6 m²	1220×1960	2	35

総客室数:119室

最大宿泊可能人数:256人

チェックイン 17:00~/チェックアウト ~14:00

■地図



(1) 事業戦略

当社グループは、これまでホテル・リゾート事業において、ラグジュアリークラス(外資系ホテルブランドの誘致含む)、ハイクラス(「ザ セレスティンホテルズ」等)、アッパーミドルクラス(「三井ガーデンホテルズ」等)、と多様なブランドを展開してまいりましたが、この度、新しい滞在価値の提供を目指して、新ホテルブランド『sequence(シークエンス)』を展開いたします。

(2) 『sequence』のターゲット、構想の理念

ライフスタイルや価値観の多様化が進む中、社会的潮流やトレンドに興味を持ち、自身のスタイルへ積極的に取り入れる人々が国内外・世代を問わず増えています。当社グループは、こうした多様化する人々のニーズに応える"新しい形のホテル"を目指し、社外のクリエイターとタッグを組み、それぞれの強みやノウハウを活かすことで、新ホテルブランド『sequence』の構想に至りました。

"個性と個性がそれぞれのスタイルをお互いに受け入れ、やさしくつながることで文化が生まれる"。そのような場所を生み出すことが『sequence』の目指すべき姿であると考え、"やさしいつながり"という理念を掲げました。新しい気づきに出会い、その場所ならではの考えが浮かび、多様な体験のきっかけとなる、そのような"やさしくつながる"特別な空間や体験を提供してまいります。

(3) ブランド名称、ブランドロゴ

『sequence』という単語には「つながり・連鎖・一連の流れ・連続」という意味があります。このホテルが、自分だけの過ごし方を自由に創造・編集し、唯一無二の時間を過ごすことができ、様々なヒト・モノ・コトとの出会いにつながる場所になるように、という想いを込め『sequence』に決定しました。

ブランドロゴは、『sequence』の"s"をシンボル化しました。円弧の連なりで構成され、離れたり、近づいたりする線、互いに影響し合う2つの円により、"やさしいつながり"を表現しています。





(4) パートナーのご紹介

『sequence』ブランドプロデュース・『sequence MIYASHITA PARK』企画プロデュース&運営パートナー 株式会社ウェルカム 代表取締役 横川正紀

2000年に創業し、「GEORGE'S」(雑貨)や「CIBONE」(インテリア家具)、「TODAY'S SPECIAL」(輸入食品、カフェ)などの自社ブランドを手掛ける株式会社ウェルカム。2003年からは「DEAN & DELUCA」を日本で展開。近年は施設開発・街づくり・ホテルのプロデュースも手がけ、国立新美術館内「スーベニアフロムトーキョー」の企画・運営(2007)など、食とデザインの感性を軸にライフスタイル提案の場を拡げている。

『sequence KYOTO GOJO』 & 『sequence SUIDOBASHI』企画プロデュース & 運営パートナー 株式会社グリフォン 代表取締役 齊藤貴史

2010 年、株式会社グリフォンを創業。国内外を問わず、商業施設や宿泊施設における新業態の企画プロデュースやクリエイティブ開発を行う。企業の新規事業や、新商品やサービスのコンセプトをデザインし、そのプロトタイプ開発と運用検証までを実施。顧客体験をストーリー化し、BI・VI、空間、サービスやコミュニケーションなどのクリエイティブに落とし込む「エンドユーザー視点に立ったインサイト」を信条としている。ロンドン大学 UCL バートレット校都市デザイン修士。

『ザ セレスティンホテルズ』『三井ガーデンホテルズ』『sequence』におきましては、かねてより「記憶に残るホテルになる」の経営理念のもと、「安心」「安全」「健康」を第一に、多くのお客様をお迎えしてまいりましたが、このたびの新型コロナウイルス感染症の世界的な流行をうけ、目に見えないウイルスに対し、'正しく恐れ適切に対処する'ために「オペレーションガイドライン」を改訂し、より一層の対策を講じてまいることといたしました。ニューノーマル社会における新たなホテルの在り方を追求し、これまで以上に、お客様とホテルスタッフの「安全」と「健康」に努めることで、「安心」してお過ごしいただけるホテルを目指してまいりますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

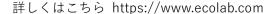
当面の間、弊社が運営する『ザ セレスティンホテルズ』『三井ガーデンホテルズ』『sequence』におきましては、以下の HP に掲載の通りに対応を行ってまいります。

https://www.gardenhotels.co.jp/info/hygiene/



◆三井不動産ホテルマネジメント × ECOLAB

ECOLAB(エコラボ)は世界 170 ヵ国、40 以上の業界において、衛生管理、水、食品安全などのソリューションを展開するグローバルなリーディングカンパニーです。 株式会社三井不動産ホテルマネジメントが運営する『ザ セレスティンホテルズ』『三井ガーデンホテルズ』『sequence』におきましては「新オペレーションガイドライン」の策定にあたって、衛生および感染防止ソリューションをグローバルで牽引するエコラボ社による信頼性の高いノウハウと科学的アプローチを清掃手順・衛生管理に取り入れております。







<添付資料⑥ 三井不動産グループの SDGs への貢献について>

https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/esg_csr/

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)を意識した事業推進、すなわち ESG 経営を推進しております。当社グループの ESG 経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。

*なお、本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における5つの目標に貢献しています。

目標 3 すべての人に健康と福祉を

目標 8 働きがいも経済成長も

目標 11 住み続けられるまちづくりを

目標 12 つくる責任つかう責任

目標 13 気候変動に具体的な対策を













以上